

【新聞活用学習】 全校／高校1年生・歴史総合

「新聞記事を活用した探究的な学び」

指定校2年次 長野県屋代高等学校 櫻井大然

(1) 本年度のN I E活動の概要

N I E研究指定校2年目の本年度は、生徒がより新聞に触れる機会を設定すること、探究的な学習活動において新聞を活用できる手段の幅を広げることを昨年度より継続し、教科学習の中では、探究的な学びの場面において新聞記事を活用し考察する実践を行った。

校内3カ所の新聞閲覧コーナーに加え、新聞ごとに一定期間分をまとめ、閲覧できるコーナーを新設。活用の幅では、昨年を引き続き、信濃毎日新聞データベースをタブレット端末など生徒所有の個人端末を用いて利用した。教科学習では、新科目の歴史総合において、「大衆化」という概念をつかむために、現代の人々の動きに関する新聞記事を通して考察することで、「大衆」というものがどのようなものであるかをつかむ授業を実施した。

生徒たちはこれらの実践を通して、新聞記事を、紙やデジタルであっても、自身の関心によせて、考察し、そこから得た情報を活用したり表現したりすることができた。また、新聞記事を活用した現代社会の考察が、過去の事象や概念を捉えることの一助となることを示すことができた。

(2) 本年度のN I E活動の取り組み状況（4月時点）

本校は全校生徒835名、1学年7クラスである。このうち1クラスは理数科、2クラスは附属中学校からの一貫生である。

全校でのN I E活動を目標とし、各学年の棟を結ぶ渡り廊下に新聞閲覧コーナーを設けた。また、新聞ごとに一定期間分をまとめ、閲覧できるコーナーを新設した。

校内のWi-Fi環境、1・2年生のタブレット端末所有、3年生のスマートフォンでの校内のWi-Fi利用といった、ICT環境を生かし、昨年を引き続き信濃毎日新聞データベースの利用を案内し、その利用も促した。

また本校はスーパーサイエンスハイスクール（SSH）事業の指定を受け、学校設定科目として高校1学年の「一人一研究」、高校2学年普通科の「課題探究」、また高校2学年理数科の「課題研究」等、生徒が興味・関心あるテーマについて課題を設定し、自ら調査・研究を行う探究的な学習活動の機会がある。これらの科目での探究活動においても新聞を活用できるよう、閲覧コーナーの新聞利用、信濃毎日新聞データベースの利用を案内した。

生徒たちだけでなく、教職員へも同様に案内するとともに、これまでのN I E活用事例等を紹介し、授業やHRなど可能な範囲での新聞活用をお願いした。

(3) N I E活動の狙い（育てたい力）

教科学習・探究活動でのN I E活動を通して、本年度も引き続き、次のような力を育てていく。

- ①：社会の実情を捉え課題を見いだす力
- ②：情報を集約・整理・共有する力

(4) 全校での取り組み

・新聞閲覧コーナーの整備

本年度も各棟を結ぶ渡り廊下を中心に、3カ所に2紙ずつの新聞の閲覧スペースを設置した。また寄贈いただいた新聞閲覧台を各カ所に1台設置し、より生徒が読みやすい環境を整備した。

あわせて、新聞ごとに一定期間分をまとめ、閲覧できるコーナーを新設した。

朝の始業前や休み時間に読み込む生徒の姿だけでなく、探究学習の時間に自分の研究テーマに関する新聞記事を複数の新聞にわたって探す生徒の姿もあった。新聞に触れる機会を増やすとともに、新聞記事を広く探す工夫をはかることができたと思われる。



・信濃毎日新聞データベースの活用

信濃毎日新聞データベースも引き続き、【NIE 学校会員】として契約し、生徒の記事検索の利用につなげた。探究活動の時期に合わせて全校へ使い方等を発信し、探究活動等での新聞利用を促した。一方で、検索した記事の利用方法等について、図書館と連携し、著作権の範囲内での利用等を確認し生徒へのアナウンスも行った。

(5) 公開授業などの活動内容

①日時：2022年10月28日（金）5時限（13:40～14:35）

②対象：1年6組（40名） 421教室

③科目：歴史総合

④授業者：櫻井 大然

⑤单元名：「国際秩序の変化や大衆化と私たち」

(1) 单元構想

1. 国際秩序の変化や大衆化への問い（1時間）…本時

(2) 本時の視点

・20世紀の初頭に次第に社会の主人公になっていった「大衆」がどのように登場してきたのか考えていくにあたり、社会の人々を「大衆」へと導くものはどのようなものなのかをつかみ取らせたい。

・「大衆化」の概念をつかみ取る端緒として、近代化に向かう中での民衆の動き（既習のフランス革命をもとに）と比較しながら、人々がどのように行動へと移るのか、社会的な動きの中から読み解きたい。現代社会の中で、人々の大きな動きがみられる事象を新聞記事から読み解くことで、どのような行動原理があるのか考える。またその際に、何をきっかけに動きがみられたのか考えたい。

・近代化の中での民衆の動きと現代の人々の動きの根底にどのような違いがあるのか、考察することで、「大衆」というものがどのようなものであるか、現段階での考えを表現させる。

(3) 本時の展開例

段階	学習内容	学習活動	指導・助言
導入 (8分)	<ul style="list-style-type: none"> 近代化における民衆の動きの確認。 	<ul style="list-style-type: none"> フランス革命における民衆の動きについて既習事項をまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 民衆が行動を起こした背景に何があったか問う。
展開1 (7分)	<ul style="list-style-type: none"> 新聞記事から人々の行動について読み解く。 ①タピオカドリンク ②マイナンバーカード グループで読み取った内容を共有し、影響を与えたものを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 新聞記事を読み、人々がどのような行動をとったのか、書き出す。 読み取った内容をグループで共有し、行動に影響を与えたものを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> どんな行動で、どれぐらいの人々が行動したのかという点に注目させる。 グループで読み取った内容を共有し、なぜそのような行動をとったのか問いかける。 行動のきっかけとなったものは何か考えさせる。
展開2 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> 資料1を読み、記事に見える人々の行動を捉える。 「大衆」という言葉の確認。 資料2を読み、「大衆」が政治や社会に影響を及ぼす事柄を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 資料1の内容から、人々の行動がどのようなものか考える。 グループで共有する。 資料1に表現される姿を「大衆」という言葉で表現していることを理解する。 社会で起きている事柄で、「大衆」が影響していることを考えてみる。 グループで共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> 資料の視点からみたら、①・②の行動はどう見えるだろうかと問いかける。 「大衆」が難しい場合には、民衆や人々などで考えさせる。
展開3 (10分)	<ul style="list-style-type: none"> 信毎データベースを使って、現代社会での実例を探してみる。 	<ul style="list-style-type: none"> 信毎データベースで、⑤で考えたことに関連する事例が起こっているか新聞記事を探し、記事の内容をまとめる。 グループで共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> 政治や社会に関する事柄で検索してみるよう声がけする。
まとめ (5分)	<ul style="list-style-type: none"> 「大衆」に関しての自分なりの問いを作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業を踏まえ、「大衆」に関する疑問を挙げる。 	

資料①：「2019年 今年のヒット商品①タピオカ」（信濃毎日新聞 2019.12.10 7面）

「タピオカ ブーム去り輸入減」（信濃毎日新聞 2022.6.23 12面）

資料②：「マイナポイントあす開始」（信濃毎日新聞 2020.8.31 4面）

「マイナンバーカード、取得の必要あるの？」（信濃毎日新聞 2022.9.20 3面）

資料1・2：オルテガ『大衆の逆襲』（1929年）

① 「近代化」の中の民衆の動きとして、フランス革命について、既習事項を整理しよう。

誰が動き出した？	
民衆はどうした？	
結果・成果は？	
民衆が行動を起こした理由は何だろうか？	

② 新聞記事について、それぞれの点に関して読み取ったことをまとめよう。

④ 「タピオカドリンク」（2019.12.10 信毎朝刊、2022.6.23 信毎朝刊）

人々はどんな行動をとっただろうか？	
なぜ、そのような行動をとったのだろうか？	

⑤ 「マイナンバーカード」（2020.8.31 信毎朝刊、2022.9.20 信毎朝刊）

人々はどんな行動をとっただろうか？	
なぜ、そのような行動をとったのだろうか？	

③ ④・⑤の記事について、人々のこうした行動に影響を与えたものとして、どのようなものがあったと考えられるか。グループで②の内容を共有して話し合ってみよう。

☆共有した内容や話し合った内容をメモしよう！

- ④ 資料1を読んだうえで、①・②の記事にみられる人々の行動をどのように捉えますか？
あなたの考えを書いてみよう。また、空欄（ X ）にはどんな言葉が入るか考えてみよう。

空欄（ X ）にあてはまる言葉 「_____」

- ⑤ 資料2を読み、考察してみよう。

（ X ）が政治や社会に影響を及ぼすこととしてどのようなことが考えられるだろうか？

- ⑥ ⑤に関して、現代社会ではどのような事例があるだろうか。

信濃毎日新聞データベース(URL:<https://db.shinmai.co.jp>)から関連記事を探してみよう。



日付（ _____ ）

記事の見出し「 _____ 」

記事の内容

- ⑦ 本日の授業内容を踏まえ、疑問に感じたことを挙げてみよう。

(生徒のワークシートへの記入内容)

② 新聞記事について、それぞれの点に関して読み取ったことをまとめよう。

① 「タピオカドリンク」(2019.12.10 信毎朝刊、2022.6.23 信毎朝刊)

人々はどんな行動をとったのだろうか？	<ul style="list-style-type: none">・インスタ映えで多くの人が入り⇒ブームが去り購入者減・専門店の増加 ・専門店以外でも販売 ・ブームをおこす・タピオカドリンクを買わなくなった
なぜ、そのような行動をとったのだろうか？	<ul style="list-style-type: none">・流行りに乗りたいから ・文化的な交流・目新しさがあったが、それがなくなったから・自己満足、承認欲求 ・外出が減り、購入が減った

② 「マイナンバーカード」(2020.8.31 信毎朝刊、2022.9.20 信毎朝刊)

人々はどんな行動をとったのだろうか？	<ul style="list-style-type: none">・ポイント付与の利益が鮮明になってから申請者が増えた・ポイントの上乗せ ・カード取得への不安 ・伸び悩み・普及率の向上 ・増加
なぜ、そのような行動をとったのだろうか？	<ul style="list-style-type: none">・利益があるから ・政府の広報 ・不安や恐れ・新たな取り組みへの興味関心から・損をするかもしれないから ・国民情報取得のメリット

③ ①・②の記事について、人々のこうした行動に影響を与えたものとして、どのようなものがあったと考えられるか。グループで②の内容を共有して話し合ってみよう。

☆共有した内容や話し合った内容をメモしよう！
<ul style="list-style-type: none">・人に乗っかっている ・SNS ・コロナ ・世論など世の流れ ・損得勘定 ・流行り・人から人へ伝わって広がる ・得だから ・周りに流されて ・政府の意向・利益の可視化 ・お店の人の工夫 ・マイナポイントによる利益

④ 資料1を読んだうえで、①・②の記事にみられる人々の行動をどのように捉えますか？

<ul style="list-style-type: none">・ミーハーだと思う ・同調圧力 ・自分だけ申請への抵抗 ・流行りを自分も・自分だけ周りと違うことを嫌い、周りにあわせる ・乗り遅れない ・自分の意志で動け・自分も同じようなところがある ・他の人と行動することで喜びを見いだしている・群がって満足⇒自分の意志弱い ・供給される側にする側が動かされている

⑤ 資料2を読み、考察してみよう。

(X) が政治や社会に影響を及ぼすこととしてどのようなことが考えられるだろうか？
<ul style="list-style-type: none">・平等という考え方 ・反対運動 ・デモ ・多数派と少数派 ・誹謗中傷 ・革命・選挙 ・流行 ・雰囲気 ・人気やブーム ・世論調査 ・デマ ・ハロウィン・国葬反対 ・輸入、輸出

⑥ ⑤に関して、現代社会ではどのような事例があるだろうか。

<ul style="list-style-type: none">・BTS 兵役免除論争 ・コロナワクチン2回目接種 ・沖縄復帰50年・反スカーフデモ ・東京五輪、パラ五輪中止 ・芸能人の自殺 ・年金制度の改革・一票の格差訴訟 ・ブラジル大統領選 ・岸田政権支持率低下 ・自粛警察

⑦ 本日の授業内容を踏まえ、疑問に感じたことを挙げてみよう。

- 二つの大衆がぶつかってしまうとどうなるのか
- 大衆的な文化の消費についてどのようなものか
- 人種などによって大衆の動きは違うのか ・なぜ流行りに乗り遅れたくないのか
- どうしてそんな大きな力になるのか ・国民の意見が優先されない場合があるのはなぜか
- 大衆が動くとなぜ社会はかわるのか ・結果が違くなるのはなぜか？違う意見を持っている？
- 現代の流行が一瞬なのに、中世の革命が年単位で続くのはなぜか ・大衆の動きの傾向

(6) 生徒の反応

- 新聞閲覧コーナー、信濃毎日新聞データベース

新聞ごとに一定期間分をまとめ、閲覧できるコーナーを新設したことで、昨年度からの閲覧コーナーでの新聞閲覧だけでなく、生徒が自分の関心や興味ある事柄について、同一の新聞の中での記事の流れを時系列で追ったり、複数紙にわたって記事を探し出し、比較したりする姿も見られた。2年生の課題探究のグループの中には、参院選前の新聞記事から憲法改正に関する記事を新聞ごとに集め考察し、各紙の憲法改正に関する記事の取扱い方や立場などを比較し、その特徴をまとめたグループもあった。その他にも、新聞記事を活用して探究活動を進めた生徒やグループもあり、新聞閲覧やデータベース活用が個々の研究を深めるきっかけとなった。

また図書委員会で、委員の生徒が気になった記事を全校に向けて紹介する活動も継続して行われ、広く校内の生徒に新聞記事から多彩な情報を発信する役割を果たしていた。

- 公開授業「国際秩序の変化や大衆化と私たち」

新たに始まった歴史総合の中で、「大衆」というものをどのように位置付けて授業を展開していくか、このことに中々良いアプローチを考えられずにいた中で、現代社会の人々の行動を読み解くことで、近現代における「大衆」を捉える端緒になるのではないかと考え、新聞記事を活用した授業実践を試みた。

「タピオカドリンク」と「マイナンバーカード・マイナポイント」という2種類の新聞記事の読み取りから、現代社会における人々がどのような行動をとっているのか、その動きの根底に何があるのか、またその行動が何に影響を受けたり、与えたりするのかなどを考察することで、「大衆」というものがどのようなものであるか生徒がつかむことができるのではないかと考えた。

「タピオカドリンク」と「マイナンバーカード・マイナポイント」という2種類の新聞記事の内容が、現代の事象であり、生徒たちにも比較的な身近なことでもあったため、人々の行動が具体的にどういう意思のもとで行われたのか読み取りやすかったと思われる。その行動を考察することで挙がってきた④の生徒の内容は、近代の中における「大衆」を読み解くのに十分なものとなっていた。

公開授業後の「大衆化」の場面を実際に捉えていく授業では、生徒は今回の授業で得た視点を持って個々の事象を考察することができた。

(7) 成果と課題

2年間のNIE活動を通して、「他者の立場に立ち、公正で多角的な視点で物事を捉える人を育てます」、「現代の諸課題に向き合い、最適解を求めようとする人を育てます」という本校の2つの生徒育成方針について充実を図ることができたと思われる。

生徒たちの探究活動における新聞活用の手段の幅を広げる信濃毎日新聞データベースの積極的な活用と、紙面をめくりながら記事を収集・比較し、一覧する紙媒体の新聞を読み込める新聞閲覧コーナーの充実という、両側面での展開は、学び方の新たな対応を求められる学校現場に、それぞれの特性を踏まえた可能性を示すものにもなったと考える。新聞の利用のしやすさを図りながら、他方、新聞記事の読み込みから得られる多様な情報獲得の可能性を高めることは、一つの媒体からでは難しいことであるが、紙媒体とデータベースの併用は有用であると示すことができた。「どちらか一方で」となりがちのところ、「両方で」という選択ができることは重要だと思われる。

探究活動や教科における探究的な学びの重要性が高まる中でも、新聞記事の活用を通じた探究的な学習活動は、活動の入口としての問題関心へのアプローチや中盤における比較・考察、まとめの活動としての情報整理など、場面ごとにその特徴を生かせることも見いだせた。授業全体を通して新聞活用に縛られる必要はなく、場面に応じて新聞記事の読み込みなどを通じた活動が行えるだけでも、意義深く、新聞を活用した活動が持続可能なものにもなっていくものと考えている。

今後は、この2年間のNIE活動の成果を、さらに学校全体の活動としてどのように継続していくことができるのか、共有を図りながらつなげていくことを課題として、引き続き新聞を活用した取り組みを展開していきたい。